



郵便関連業務の自動化

# ミスのない正確な封入・封かんを 少人数でスピーディに実現

さまざまな通知や帳票を住民に発送している自治体では、職員が手作業で文書の封入・封かん作業を行っているケースも多い。個人情報を取り扱う場合は、誤封入を起こさないよう慎重な作業が求められ、職員が精神的な負担を感じていることも少なくない。こうしたなか、阪南市(大阪府)では、作業を自動化し、正確な封入・封かんを実現している。自動化の詳細や具体的な成果について、まちの活力創造課の根来氏と楠本氏に聞いた。



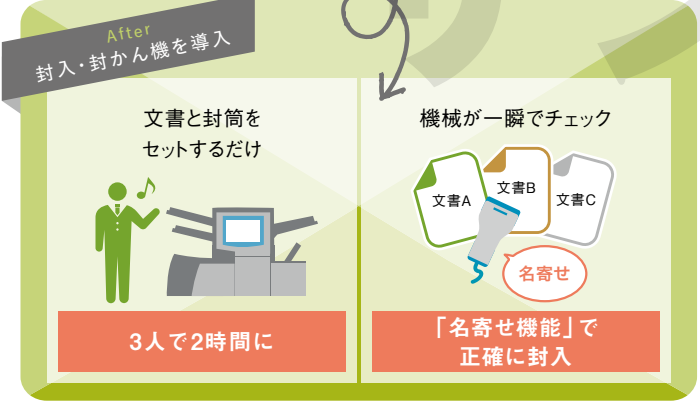
未来創生部  
まちの活力創造課 主事  
**楠本 祥平**  
くすもとしょうへい

阪南市  
未来創生部  
まちの活力創造課 主事  
**根来 昌美**  
ねごろまさみ

## 10時間の手作業が 職員の精神的な負担に

— どのような業務で封入・封かん作業が発生していますか。  
根来 ふるさと納税の寄附を受けた翌日以降、寄附者に送る「受領証明書」と「ワンストップ特例申請書」「申請書の書き方に関する通知」の、封入・封かん作業を行っています。以前は、職員が宛先ごとに文書を集約する「名寄せ」を行っていたうえで、文書を3つ折りにし、封入。これを別の職員が再度確認し、のりづけしていました。  
— 作業にはどのくらいの時間がかかりますか。

楠本 普段は2人がかりで1日30分程度ですが、年明けの繁忙期には文書数は約1500通に上り、10人で約10時間かかることもありました。作業が長時間続けば、疲労によって誤封入のリスクが高まるため、作業の正確性を求められる職員は精神的な負担も感じていました。こうしたなかで、一連の作業を自動化する機械の存在を知りました。幅広い文書や封筒に対応できることから、ピツニーボウズジャパンの「封入・封かん機」を令和2年9月に導入しました。  
— 封入・封かん機とはどのようなものですか。  
楠本 文書と封筒をセットしてボタンを押すと、紙折りから名寄せ、封入、封かんまでの一連の作業を自動化する機械です。このうち名寄せの機能では、文書に付与されたバーコードを読み取り、名寄せのミスや文書の抜け・重複が検知されれば、稼働を停止してくれま



す。この機能により、正確な封入を実現でき、職員は誤封入への不安を解消できました。同時に、作業にかかる人手と時間も大きく減らされています。普段の作業は1日5分程度に短縮され、年明けの繁忙期でも3人の動員によるわずか2時間で作業を完了できました。

庁内全体の業務効率化につなげたい

— 今後の活用方針を聞かせてください。

根来 ピツニーボウズジャパンが提供する専用のソフトウェアでは、既存の文書PDFに名寄せ用のバーコードを付与できます。今後もこのソフトウェアを使い、封入・封かん機を活用できる文書の種類を増やしていきたいです。さらに、郵便物を取り扱う業務は庁内に多く存在するため、封入・封かん機が存在をほかの部署にも知ってもらい、庁内全体の業務効率化につなげればと考えています。

## 支援企業の視点

### 機械による二重確認で誤封入リスクは低減できる

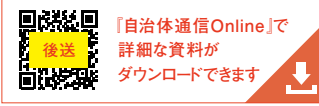
— 自治体における封入・封かん作業で、職員はどのような課題を抱えていますか。  
特に多くの職員が捉えているのは、「誤封入をいかに防ぐか」という課題です。実際に、目視による二重、三重の確認を行っていても、誤封入が起きるケースは少なくありません。さらに、大量の送付物を大人数で扱う場合は、「作業時間の短縮」や「職員による密の回避」などの課題も耳にします。そこで当社では、これらの課題を一挙に解決できる手段として、「封入・封かん機」の導入を提案しています。当社の製品では1時間に最大3500通の速さで正確に処理。令和元年度、2年度だけでも44自治体で導入されていますが、これまでに一度も誤封入の事故は報告されていません。  
— どのような仕組みで正確な封入を実現しているのですか。  
まず、文書内のバーコードを機械が読み取り、送り先ごとに正しい枚数で名寄せする仕組みを構築。文書の抜けや別文書の

差し込みを防いでいます。さらに、文書が2枚重なっても機械が自動で停止できるよう、紙厚みの自動検知機能も実装しています。こうした二重の確認を機械が行うことで、封入の正確性を担保しているのです。  
— 自治体に対する今後の支援方針を聞かせてください。  
当社では、郵便物の集計作業を自動化する「郵便料金計算器」も提供しています。多くの自治体の郵便関連業務を支援してきた実績や、郵便制度に関する知見を活かし、今後も自治体の業務効率化を支えていきたいです。



ピツニーボウズジャパン  
SMBソリューションズ  
営業本部  
西日本営業1部  
**中世 孔平**  
なかせ こうへい

お問い合わせ先 0120-00-9537 (平日9:00~17:00)  
Webからの問い合わせはこちら <https://www.pitneybowes.com/jp/smb-inquiry/>



ピツニーボウズジャパン株式会社 設立/昭和56年1月 資本金/4億円  
従業員数/135人(令和3年3月1日現在) 事業内容/郵便と小包の発送業務の効率化およびデジタルトランスフォーメーションの分野における、製品・ソリューション、サービスの提供 URL/<https://www.pitneybowes.com/jp>

【阪南市】 ■人口: 5万2,795人(令和3年3月末日現在) ■世帯数: 2万4,150世帯(令和3年3月末日現在) ■予算規模: 342億5,100万6,000円(令和3年度当初) ■面積: 36.17km<sup>2</sup> ■概要: 大阪府の南部に位置し、大阪市の中心部から約45km、和歌山市の中心部から約10kmの距離にある。東は泉南市、西は岬町、南は和泉山脈を境として和歌山県にそれぞれ接し、北は大阪湾に面する。漁業、農業、地酒造りなどの地場産業が盛ん。山中溪の桜や箱作海水浴場、波太神社、歴史的なまちなみ(尾崎地区、山中溪地区)など、豊かな自然や多彩な歴史・文化の地域資源を有している。

